



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

# THE Y'S MEN'S CLUB OF YONAGO

米子ワイズメンズクラブ YONAGO Y's MEN'S CLUB  
 3-3-2, KINKAI-CHO, YONAGO-CITY, TOTTORI, JAPAN

会報 通巻 147 号 〒683-0825 鳥取県米子市鶴海町3-3-2 YMCA米子医療福祉専門学校内  
 2011年3月号 TEL (0859) 35-3181 FAX (0859) 35-3182

主題 国際会長 『心新たに立ち上がろう』 藤井 寛敏  
 アジア会長 『心新たに立ち上がろう』 高田 一彦  
 西日本区理事 『飛翔たとうワイズスピリットを胸に』 仁科 保雄  
 瀬戸山陰部部長 『感謝と奉仕』 菅原 好紀  
 米子クラブ会長 『誠実に奉仕』 加藤 俊行

### クラブ役員

会長	加藤俊行	直前会長	福永君二
副会長	福永君二	会計監査	村田礼子
書記	後藤富貴子		山崎光子
会計	野口純一	メール委員	福永君二
監事	澄田悦子	連絡主事	三谷信勝

### 事業委員会

YMCAサービス	福永
地域奉仕委員会	吉岡、野口
EMC委員会	加藤、福永
ファンド委員会	後藤、山崎
交流委員会	福永、野口
広報委員会	三谷
メネット委員会	村田、澄田

### 聖書の言葉

はっきり言っておく、わたしの兄弟である  
 この最も小さい者の一人にしたのは、わたし  
 にしてくれたことなのである。

マタイによる福音書 25章40

3月例会記録				各種ファンド等の状況	
在籍会員	13名	ゲスト	10名	現金	円
出席会員	9名	ビジター	名	使用済み切手	g (整理後秤量ぶん)
広義会員・会友	名	メネット	名	使用済みテレカ	枚
メイキャップ	名	コメント	名	未使用テレカ	枚
出席率	69.2%	出席総数	19名	切手シート	枚
				割り箸	箱 (王子製紙搬入加算)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 3月例会報告

3月の第1例会を次のとおり実施しました。

記

年月日：2011年3月9日(水)

場 所：YMCA米子医療福祉専門学校 401 教室

出席者：加藤、福永、野口、吉岡、遠藤、澄田、山崎、後藤、三谷

ゲスト：笠置綱清校長、原田純一学生部長、中原照男教務部長、理学教員浜田慶子、作業教員岸田和子、介護教員藤原紀子、大村裕司事務局長 理学 - 松本拓也、作業 - 江角真理子、介護 - 高濱幸恵

計 19 名

学習努力賞受賞者を囲む会 18：30～20：00

司会：福永メン

会食、自己紹介、卓話（「YMCAとワイズメンズクラブの社会的使命を考える」福永メン）、表彰受賞者抱負披露、記念撮影を行った。

- ① 瀬戸山陰部第2回評議会報告 2月27日(日) 武蔵の里 出席：福永、野口、後藤、山崎 会の冒頭、乗本吉郎メンの顕彰・祈禱が行われた。次期部長方針、次々期部長に福永君二メンが承認された。瀬戸山陰部細則第7条第2項「支援」を「支持」に改め、姫路Y3の活動をサポートすることを確認した。帰路、乗本氏宅を訪問し、評議会での報告とともに奥様・御長男業文氏と吉郎メンの遺徳についてお話をした。業文氏は吉郎メンの業績や提言をまとめたものの出版を検討されており、例会での卓話も依頼した。
- ② YMCA国際協力募金報告 2月26日(土) 13：00～15：00 ジャスコ日吉津SC 加藤、福永、山崎、三谷、学校関係者参加。 26,720円
- ③ 行事確認
- ④ プリテン3月号記事確認
- ⑤ これからの行事予定の確認
- ⑥ 米子クラブ次期役員及び委員会組織検討

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 第2回瀬戸山陰部評議会出席報告

野口 純一

2月27日武蔵の里 五輪坊で瀬戸山陰部第2回評議会が開催されました。福永メンの車で加藤、野口、後藤の4名が参加いたしました。評議会に先立ち、開会礼拝が蔵次次期部長より執り行なわれ、米子クラブ乗本吉郎メンに黙禱を捧げました。

乗本メンは米子クラブの活動の基を作られ、中心的な役割を果たされ、クラブの精神的支柱であったことが語られました。

菅原部長の開会点鐘、挨拶に続き、評議会の議事が進められた。

半期の活動報告が部長、各事業主査、各クラブ会長から発表され拍手で承認されました。

また次々期部長の選出について全会一致で米子クラブ福永メンが選出されました。

意見聴取がなされましたが、部細則どおり部費の納入義務はないが、評議会への参加、報告はこれまで通り求めたい、登録費について半額免除など参加しやすい形で考慮すべきとの確認がなされた。

また富吉Yサ・ユース主査より来る5月21日(土)に計画されているYYYフォーラムの内容と参加へのアピールがなされた。

評議会終了後懇親の時がもたれ、各クラブとの交流を深めることができました。





純一学生部長、中原照男教務部長、浜田慶子理学療法士教員、岸田和子作業療法士教員、藤原紀子介護福祉士教員をお迎えし、クラブ員9名と食事を共にし、交流親睦して表彰する時をもった。

福永メンの司会により、まず笠置校長より挨拶色々の感謝の意を述べられた。それから会食に移り、その途中から会員自己紹介をして互いの理解を深めた。ここで福永メンは用意された資料に基づいて、互いの存在の基礎である米子のYMCA発足の事情と現在の学校の存在の意義について発表をした。

1948年に発会し、その後に衰退したが、1994年に広島YMCAの尽力と地元の多くの人々の協力によって米子医療福祉専門学校が開校され、米子ワイズメンズクラブが1997年に設立された。

次いで活動の根底であるキリスト教理解について述べ、聖書に基づく人間観、倫理観、神の言に従わない人間の罪人の姿と、それに対する神の側の愛、キリストの十字架の死の復活による赦しと和解が語らえた。それによる一つの体の弱い所を大切に考える考え方をもって、隣人に対する愛の実行の大切さをもって締めくくられた。

食事が終わったところでいよいよ学習努力賞の授与をすることになった。澄田メンの書による賞状に副賞を添えて、会場正面で会長より3名の受賞者に手渡された。このように表彰し祝福し、今後の活動について激励することにより、米子クラブと若い人また学校との関係を深めることとなった。

これらを受けて、受賞者3名がそれぞれ自己紹介と感謝そして抱負を述べた。卒業に至るまでの支援協力者に対する感謝の言や就職先での活動方針や将来の目標などが披露され、頼もしく思われた。

その後、語り合いの時とし、人生の労苦に涙を流す経験後の微笑みによる慰めの必要についての言があり、特に吉岡メンは自分の危機的状況よりの奇跡的回復の経験に基づいて、若い人々の新しい職場、現場での心得について語られ、まことに良い餞の言を贈られた。

こうして学習努力賞受賞者を祝福して社会に送り出すと共にYMCAの支援と交流の行事となり、有益であった。

最後に記念撮影をして終了した。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 歳時記

吉岡 太佑

—東日本大震災発生—

3月11日の福島県沖を震源とするM9.0という大震災発生による大津波が、こんなにも大きな災害をもたらすとは思わなかった。地震の恐ろしさは身近では鳥取西部地震の時に体験したが、津波の莫大なエネルギーによる破壊力の凄まじさは想像をはるかに超え、目を覆いたくなるほどであった。日本列島太平洋沿岸東北関東地方は広範囲に破壊され被害を被った。追い討ちを掛けるように福島原発事故の発生である。台風や地震などの自然現象による影響・被害はある程度予測し得たものであるが、原発事故発生には言葉を失う。日本のみならず世界中でエネルギー供給手段としての原子力発電が見直され、数カ国で新たに設置が計画されている矢先である。自然災害を遥かにしのぐ破壊力で、人間のみならずあらゆる生物を死に直面させる放射能被害が人知の制御を超えた場合の事を考えると空恐ろしい。現実には被害を被っている人達の不安、恐怖、怒り、悔しさ、失望は如何ばかりか。

唯一、ホッとするニュースに接して慰められた。大震災発生から9日ぶりの3月20日に80歳女性と孫が救出された。各地の被災地で限らない命が失われた中での奇跡的な生還である。まだ崩壊した瓦礫の下で命を繋ぎ止めようと救援を待っている人達が居られるかもしれない。生命の大切さは何より重い。とは言え、被災者の生きるということの辛さも今後ますます大きくなるだろう。支援の仕方も様々な形であるだろう。自分が出来る事はただ祈る事しかないとは思えない。何らかの希望に繋がる光を共に見つける英知は失われていない事を信ずる。

---

### 3月度強調月間 TOF・CS・FF

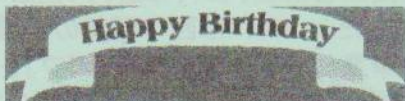
個人や、家族や、クラブなどでの色々なハッピーニュース・ラッキーニュースを記念して、  
ワイズダム発展のために献金しましょう。

杉浦 英ファンド事業主任

---

### 4月活動予定表

- ・ 4月 6日 (水) YMCA米子医療福祉専門学校  
入学式
  - ・ 4月13日 (水) 4月第1例会
  - ・ 4月17日 (日) 大山一斉清掃
  - ・ 4月27日 (水) 4月第2例会
  - ・ 4月29日 (祝) 中海清掃 8:30～
- 
- ・ 4月13日 (水) 4月第1例会
  - ・ 4月17日 (日) 大山一斉清掃
  - ・ 4月27日 (水) 4月第2例会
  - ・ 4月29日 (祝) 中海清掃 8:30～



3月の誕生日の方はいません。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

### 編集後記

3月18日に第14回理学・作業療法士科、第16回介護福祉士科卒業式を挙行了しました。(回が異なるのは修業年限が違うためです。)

当日は前日の2月を思わせるような雪から一転して晴天となりました。

今回は66名の学生が卒業しましたが、これで通算1500名弱の卒業生を数えます。

社会人になってからも少しずつ経験を積み、たゆまぬ努力を続けて欲しいと思います。

(三谷 信勝)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★